

メールマガジン 2024年3月

桜やモクレン、そして道端で健気に咲いている小さな野花を目にするようになり、寂しかった景色が春色に移ろい、心が和む季節がやってきました。また、3月31日は冬時間から夏時間へと移行し、いよいよ一年中で一番ワクワクする時を迎えます。しかし、同じ空の下では、戦争が続いており手放しては喜ぶことができないものがあります。特にウクライナ・オデッサでは日本人の同労者が現地の教会に仕えており、最近特に激化している状況をオンタイムで発信しているのので、我が教会の皆さまと情報を共有して心からの祈りを捧げています。何もできず無力な者ですが、祈りをもって寄り添うことができればと願っています。

受難節の今、水曜日の聖書の学び&祈禱会では、聖書を丁寧に読みながら、イエス様の最期の一週間の足跡を辿っています。今迄目に留まらなかったことを発見したり、旧約に遡ったり、あちこち寄り道をしながら皆さんと色々なことを思い巡らしています。貴重な時間と共に楽しみの時間でもあります。

さて、日本でも報道されているようですが、最近のドイツ鉄道や飛行機、病院等はストの連続です。特に電車はまともに動いている時の方が少ないほどです。このような状況に慣れたくないものですが、国民は慣れざるを得ないといった感じで、振り回されながら予定を立てるといった具合です。

ストではなかったのですが、ブリュッセルの教会に向かう日曜日の朝、予定していた電車が故障のために運休となり、次の電車は2時間後なので途方に暮れました。しかし、丁度その時間帯は、駅前にあるケルン大聖堂で礼拝が捧げられているので参加しました。パイプオルガンの音色と聖歌隊の美しい賛美に慰められて心機一転、少し遅れましたが次の電車で何とか到着しました。ドイツ鉄道は当てにならないので余裕をもって電車を予約してもこのようなことが起こるので、日曜の電車のトラブルは避けたいと切に祈るものです。

そのブリュッセル教会の礼拝に、先週、新しい方がいらしたそうです。無牧状態ですが、教会の方がFacebookに集会の案内等を掲載したり、個別に声かけをして、信徒の方が教会を支えておられます。主は全てを確かに見てくださっているのだなぁ〜と、感動！矢張り教会の頭はイエス様ですね。

日本では3月が年度末となり、教会総会や新年度の計画等が進められているのではないのでしょうか。皆さまの教会が主のお導きのもとで、神の国が拡大して参りますようにお祈りいたします。

「支える会」のホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすくなりましたので、是非ご覧ください。https://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki/mailmagazine.html

春爛漫
桜、モクレン & 野の花
どの花見ても綺麗だな♪



3月24日
子どもたちと一緒にイエスさまの
足跡を辿る予定です。



昨年日本に一時帰国した際、聖公会の教会に通っているお友だちから頂いたものを、今年使わせていただきます。点線を折ってゆくと、一冊の小冊子になる優れもの：